

## ワークショップ 地域における高齢者の消費者被害防止に向けて

### 【テーマ = 共通の問いかけ】

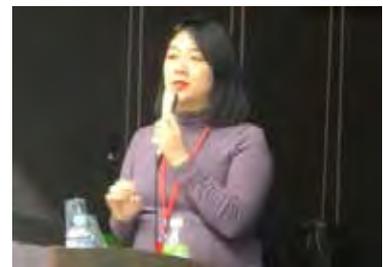
地域における高齢者の消費者被害防止に向けて

「高齢者が地域とつながりをつくりにはどうしたらよいか？」

### 【目的】

消費者被害を防ぐために、高齢者が地域とつながりをつくるにはどうしたらよいか、ワークショップを通じて皆でアイデアを出し合い、共有すること。

また、ワークショップでの体験を各自の現場に持ち帰り、地域での対話やアイデア出しの手法として活用してもらいたい。



### 【ファシリテーター】

宮島 真希子

(NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ理事)

### 【参加者】

行政関係者、民間事業者、消費者団体関係、弁護士、司法書士、学生など。

全9チーム。

### 【ワークショップ手順】

○「フューチャー・ランゲージ」(慶応大学総合政策学部井庭崇准教授提唱)に則り実施

用意するもの：模造紙、付箋(黄・青・緑・ピンク)、サインペン

#### ワークショップでの基本ルール

- ・全員が意見を言って、グループで意見を作るという目的意識を持つこと。
- ・他人の意見を批判しない。判断は保留する。
- ・意見を交わすときに沈黙しない。
- ・振り返りを重視すること。
- ・出会いを楽しむこと。



#### ワークショップの進め方

自己紹介・最初にお互いの自己紹介を行う。

(今回は「マンダラート」という連想シートを活用して自己紹介を実施)

模造紙を横長に置き、3等分に軽く折る。

一番左に「現状」、一番右に「未来」と書き、真ん中のスペースは空けておく。

【ワークその1】理想の未来について考える。

(ファシリテーターからの問いかけ)理想の未来がどうなると良いと思うか？

黄色の付箋にサインペンで思いついた事を書き出す。

書いた付箋を模造紙の「未来」スペースに貼る。

【ワークその2】現状の課題について考える

(ファシリテーターからの問いかけ)高齢者が地域とつながりをつくるにあたり、どのような問題・課題・悩みがあるか？解決したいと感じている課題や悩みは何か？

青色の付箋にサインペンで思いついた事を書き出す。

書いた付箋を模造紙の「現状」スペースに貼る。

【ワークその3】チームでディスカッションしながら、グルーピングを行う。

理想の未来について、似ている未来イメージ(黄色付箋)を皆で相談しながらグルーピングし、サインペンで緩い丸囲みを描く。

同様に現状について、似ている現状イメージ(青色付箋)を皆で相談しながらグルーピングし、サインペンで緩い丸囲みを描く。

「現状(問題・課題・悩み)」とそれが解決すると訪れる「未来イメージ」をサインペンで線を書いてつなぐ。

必ずしも1対1対応にならない場合がある。

また、1つの問題から複数の未来を連想することがあってもよい。

【ワークその4】関連づけと、解決策に向けた手段・方法を考える。

どうすれば「現状(問題・課題・悩み)」が解決され、「未来イメージ」を実現できるのか、解決すべき課題を3つ程度選択し、その手段・方法を考えて、緑色の付箋にアイデアを書き出す。

書いた付箋を線の近くに貼る。

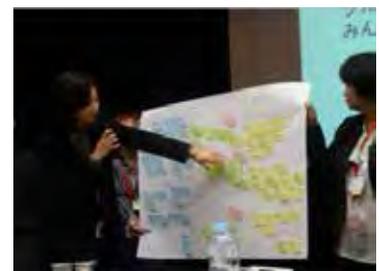
【ワークその5】それぞれのアイデアに新しい言葉=キャッチコピーをつける。

重要な手段・方法にプロジェクト名をつけるため、ピンク色の付箋に名前候補を書き出す。キャッチコピーをつける感覚で、はっとするような面白い新しい造語がよい。

他のチームの様子やプロジェクト名を眺めて再考する。

プレゼンテーションを行う。

最後に各チーム2分間で成果発表を行い、会場全体で共有する。



## 【ワークショップスライド資料】

1 .

消費者被害を  
防ぐために

# 高齢者が 地域とつながりをつくるには どうしたらよいか？

作戦会議

進行担当  
NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ理事  
宮島真希子

2 .

## 自己紹介

宮島真希子  
▽NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ理事  
▽NPO法人アイデア創発コミュニティ推進機構理事  
青山学院大ワークショップデザイナープログラム修了

2 .

### 本日の対話のルール

- ▽他人の意見を批判しない  
(判断を遅らせる、批判を保留する)
- ▽グループで協力する
- ▽せっかくなので全員が意見を言う(全員の意見を聞く)
- ▽振り返りを重視する
- ▽楽しむ

4 .

## それでは 始めましょう！

5 .

## みなさんで 自己紹介

連想シートを使います！

6 .

	ふるさと	

最初に書き込むのは真ん中、「さようばふるさと」と書き込んでください。

7 .

連想シートをつかきましょう

次にまわりのマスに「ふるさと」から連想する言葉をいれてください！

	団地 森 シウマイ	坂道 ふるさと 海	家族 横浜 実家

8 .

連想シートを埋めていきましょう！

まわりのマスの真ん中に、最初のマスに書き込んだ言葉を入れて下さい！

団地	坂道		
森	団地 森 シウマイ	坂道 ふるさと 海	家族 横浜 実家
シウマイ		海	実家

9 .

8分間、とります。  
連想をどんどん  
書き込んで  
くださいね！

10 .

一人1分で、シートを見せ合い  
ながら、自己紹介を  
してください。

11 .

高齢者が地域とつながりをつくるには  
どうしたらよいか？

理想の未来について

どうなるとよいと思いますか？

黄色の付箋を使います

12 .

高齢者が地域とつながりをつくるには  
どうしたらよいか？

現状の問題について

解決したいと感じている悩み・課題はなんですか？

赤色の付箋を使います

13 .

高齢者が地域とつながりをつくるには  
どうしたらよいか？

理想の未来について

似ている未来イメージを  
グルーピングしましょう。



14 .

高齢者が地域とつながりをつくるには  
どうしたらよいか？

現状の課題について

似ている課題群を  
グルーピングしましょう。



15 .

高齢者が地域とつながりをつくるには  
どうしたらよいか？

「問題・悩み」と  
それが解決すると訪れる  
「未来イメージ」を  
つなぎます！



16 .

高齢者が地域とつながりをつくるには  
どうしたらよいか？

どうすれば  
「問題・悩み」が解決され  
「未来イメージ」  
が実現できるのか？  
「手段・方法」を考えよう！

緑色の行儀を使い出す



17 .

高齢者が地域とつながりをつくるには  
どうしたらよいか？

重要な手段・方法に  
「新しい名前」を  
つけましょう！

重要な「手段・方法」あるいは  
「未来イメージ」に名前つけします。

とくにお名前を付けてください



18 .

グループで代表を決めて  
みんなで共有しましょう！

1グループ2分です！



## 【ファシリテーター宮島氏による総括】

会議で議論して終わりというのではなく、何も正解がないことを話すという訓練が、逆に今の私たちに必要ではないかと思っています。人に紐づいた意見ではなく、付箋のアイデアだけを見て話せるということが、このワークショップの良いところです。

もう1点は、「未来」と「現状」についてです。案外「未来」のイメージが描けていないと気づいた方がいたかもしれません。つまり、理想のイメージがないところで幾ら動いても、なかなか難しいということなのです。「現状が難しい」、「今からどうしようか」と一人で考え込んでしまうのではなく、本日のワークショップのような方法を活用しながら、理想のイメージを皆で話し合い、未来を描いていただければと思います。今後も地域での対話から沢山のアイデアが出て、高齢者の消費者被害防止に役立てられればと思っています。



ネーミング	未来	実現方法	現状
健康応援隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活</li> <li>いきいきと健康に</li> <li>美味しい食事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かかりつけ医を持つ</li> <li>訪問看護を増やす</li> <li>ウォーキング大会、街コン(※)大会を催す</li> <li>※地域振興を目的とした大規模なコンパイベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院に行くことが増えている</li> <li>健康状態がすぐれず活動に参加できない</li> <li>認知症が増えている</li> </ul>
おせっかいサロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人のささいな情報</li> <li>新聞がポストにたまっている</li> <li>いつもの時間に洗濯物を干していない</li> <li>お隣が訪販を断れないみたい ...</li> <li>も共有できる社会</li> <li>生活の不安がない</li> <li>年金の保障</li> <li>高齢者の仕事確保、所得倍増</li> <li>医療費ゼロ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の活動の活性化(町内会・子供会)</li> <li>地域包括支援センターのコミュニティ化</li> <li>郵便・宅配業者に見てもらおう</li> <li>おせっかいな人を増やす</li> <li>おせっかいだと思っても話しかけてみる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣人の顔を知らない</li> <li>隣人と話をしない</li> <li>お互いへの無関心</li> <li>子が忙しくて親に連絡しない</li> <li>きつかけをつくりにくい</li> </ul>
生き生き高齢者活躍プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートシティが構築され、機械音痴でも生きられる超IT社会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定年制廃止(スタップ制の導入)</li> <li>高齢者にとって働きやすい環境を作る</li> <li>高齢者も収入を得られる産業を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活するのに精一杯</li> <li>生活苦(年金収入不足)</li> <li>仕事が少ない(働けるのに仕事がない)</li> </ul>
あなたは私ロボ(ロボミー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者すべてがIT機器を使える</li> <li>身体に障害があっても一人に1台高性能ロボットを携帯する</li> <li>スマートシティが構築され、機械音痴でも生きられる超IT社会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITのバポラ(※)バコンポランティア)大募集</li> <li>人工知能ロボットを無償で貸し出す公共サービス会社</li> <li>ICT機能がシステム化された包括支援センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>孤立化しても気付けない</li> <li>自由に外に出にくい半径10Mの生活圏</li> <li>外出の足(交通手段)がない</li> <li>家族とも物理的・精神的に距離があるおひとり様暮らし</li> </ul>
地域の茶の間	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の居場所が至るところにある</li> <li>地域レストラン</li> <li>地域でバースデーパーティー、Xmasパーティー／持ち寄りパーティー</li> <li>地域のスポーツ大会・カラオケ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者サークルへの補助・支援</li> <li>持ちまわりキッチン開放日</li> <li>官民で連携して実行委員会をつくる</li> <li>特技のある人を先生にする</li> <li>企業と連携する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしで話し相手がいけない</li> <li>地域に居場所がない</li> <li>地域で消費者被害を相談する場・相談する人がいない</li> <li>地域の人と触れ合う場がない</li> </ul>
～シニア大活躍～「地域マスター」プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>家の中で困ったとき助けてくれる人がいる(電灯交換、水回りの故障、PCのフリーズ)</li> <li>高齢者が自分の経験(仕事)を子供・若者に授業する</li> <li>高齢者が消費者問題の相談員になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シニアが活躍する場の提供</li> <li>活躍の場のいい事例を広く発信する</li> <li>専門性を持つ人(コミュニティ・コーディネーター、コミュニティ・ソーシャルワーカー)が地域の人をつなぐ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域全体が高齢化して、地域とつなぐため動ける人、やれる人がいない</li> <li>気軽にちよっとした助けを求められる人がいない</li> <li>地域デビューするきつかけがない</li> </ul>
新・青春プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>皆顔なじみ</li> <li>茶飲みベンチが増える</li> <li>皆でご飯を食べる場所がある</li> <li>毎日笑顔で暮らせる</li> <li>笑顔がいっぱい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者大学</li> <li>カルチャーセンターの高齢者クラブ化(既に現実)</li> <li>毎日喫茶店に通う</li> <li>喫茶店で新聞を読む</li> <li>若者が高齢者に、高齢者が若者に教える</li> <li>小学校に高齢者の居場所</li> <li>保育園と老人ホーム同一場所に</li> <li>祖父母と孫のレジャー・食事に補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>転勤族／地域のことをよく知らない</li> <li>居場所や役割がない／仲間がいけない</li> <li>いきなり地域に参加しにくい</li> <li>健康を損うと自信がなくなり家に閉じこもる</li> <li>まず何から始めたらいいかかわからない</li> </ul>
スーパあたためなおしプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の若者・子供とふれあい</li> <li>幼児と高齢者の交流の広がりが</li> <li>子供の声がる街／若者が元気になる</li> <li>子供にとって夢の持てる未来</li> <li>人口減少がなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が高齢者に、高齢者が若者に教える</li> <li>小学校に高齢者の居場所</li> <li>保育園と老人ホーム同一場所に</li> <li>祖父母と孫のレジャー・食事に補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い頃に忙しく地域で過ごす時間が少ない</li> <li>子供たちと触れ合う機会がない</li> <li>若者が高齢者に無関心</li> </ul>
つながってたいね作戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>声をかけ合うことが普通になる</li> <li>顔の見える関係のある社会</li> <li>相談のしやすい社会</li> <li>いつでも誰かがいる場所がある</li> <li>孤独死のない世の中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様な地域情報を家でも外でも知れる、参加できる</li> <li>全ての家がTV電話でつながる</li> <li>見守り活動を促す法整備を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰とも話さない日が多い</li> <li>日常的に目を配ってくれる人がいない</li> <li>相談できる相手がいけない</li> <li>仲間づくりが苦手</li> </ul>